

履 歴 書 記 載 上 の 注 意

1 学 歴

- (1) 高等学校以降のすべてについて記載すること。(中退, 退学を含む。)
- (2) 医師免許, 学位, 研究生, 専攻生等についても記載すること。
(臨床研修医については, 職歴欄に記載すること。)

【記載例】

年 月 日	学 歴
昭和〇. 〇. 〇	△△高等学校卒業
〇. 〇. 〇	△△大学医学部医学科入学
〇. 〇. 〇	△△大学医学部医学科卒業
〇. 〇. 〇~〇. 〇. 〇	△△大学大学院医学研究科博士課程 (内科系専攻) 修了
〇. 〇. 〇	医師免許取得 (医籍登録第 号)
平成〇. 〇. 〇~〇. 〇. 〇	△△大学研究生 (△△学講座)
〇. 〇. 〇	医学博士学位取得 (△△大学)

注：平成3年7月以降の学位取得者は, 博士 (医学)

2 職歴, 研究歴

- (1) 職歴のすべてについて記載し, 職名, 地位等についても明記すること。
- (2) 臨床研修医, 副手等についても記載すること。
- (3) 外国留学, 外国出張は, 国名, 受入れ機関名, 受入れ身分等を記載すること。

【記載例】

年 月 日	職 歴
昭和〇. 〇. 〇~〇. 〇. 〇	△△大学附属病院臨床研修医 (△△科)
〇. 〇. 〇~〇. 〇. 〇	△△大学医学部助手 (△△講座)
〇. 〇. 〇~〇. 〇. 〇	△△大学医学部講師 (非常勤)
〇. 〇. 〇~〇. 〇. 〇	外国留学 (アメリカ, △△大学, Research Fellow)
平成〇. 〇. 〇~現在	△△大学医学部助教授 (△△講座)

3 学会及び社会における活動等

- (1) 本人の専攻, 研究分野に関連した事項についてのみ記載すること。
- (2) 学会活動は, 地方学会まですべて記載すること。また, 学会の認定医, 指導医等についても記載すること。

【記載例】

年 月 日	学会及び社会における活動等
昭和〇. 〇. 〇	△△△△学会会員
〇. 〇. 〇~〇. 〇. 〇	△△△△学会中部地方会評議員
〇. 〇. 〇~〇. 〇. 〇	△△△△研究会評議員
〇. 〇. 〇~〇. 〇. 〇	△△△△学会理事
平成〇. 〇. 〇	△△△△学会認定医 (第 号)
〇. 〇. 〇~〇. 〇. 〇	第〇〇回△△△△学会会長

4 記入上の注意

- (1) 記入に当たっては, ワープロ等又は楷書で鮮明に記入してください。
- (2) 外国語は, 必ずワープロ等で記入してください。

業績目録記載上の注意

- 1 業績は、著書、学术论文及び学会発表を記入すること。
- 2 過去5年以内の業績を記載することとし、それ以前のものについては、「その他何編(冊)」と記載すること。
- 3 英文等、和文にかかわらず、年月日の古いものから順に番号を付して記載すること。なお、それぞれ1題ごとに1行ずつ間をおくこと。
- 4 本人の氏名を含め、著作者全員の氏名を当該著書、学术论文に記載された順に記載すること。また、本人の氏名にアンダーラインを付すこと。
- 5 著書【記載例】①(※記載例は業績目録(Excel版)のシートの中にあります。)
 - (1) 「名称」欄には、例えば内科診断叢書のうちの“呼吸器病の診断”という場合は、その旨明記すること。
 - (2) 共著の場合は、共著者名をすべて記載すること。ただし、医学叢書の場合は、自己の担当部分のみでよい。
- 6 学术论文【記載例】②(※記載例は業績目録(Excel版)のシートの中にあります。)
 - (1) 発行されているものについては、その雑誌名、巻及び発行年を記載し、発表が予定されているものは、その雑誌名、巻が明確なものについて記載すること。
 - (2) 学術発表を主とすると考えられる雑誌に発表したもののみとし、製薬会社や医療機器等のPR誌と考えられるもの及び一般大衆誌に発表したもの等は除くこと。
 - (3) 発表誌名の略号は、例えば“日本感染症学雑誌”ならば“日感染学誌”のように、その雑誌規定の略号(表紙に記入してあるものが多い。)がある場合にはそれを用いること。外国雑誌の場合は、例えば“American Review of Respiratory Diseases”ならば“Am. Rev. Resp. Dis.”となる。ただし、規定の略号のない場合は、フルネームあるいは慣例と考えるものを用いること。
 - (4) 学位論文がある場合は、これを明記すること。
- 7 学会発表【記載例】③(※記載例は業績目録(Excel版)のシートの中にあります。)
 - (1) 学会発表は、特別講演、シンポジウム、パネル、一般演題の主要なもの等について記載すること。
 - (2) 本人が口演発表したものには、番号に○を付すこと。
- 8 記入上の注意
 - (1) 記入に当たっては、ワープロ等又は楷書で鮮明に記入してください。
 - (2) 外国語は、必ずワープロ等で記入してください。